

介護あんしん 相談員だより

第40号 令和元年5月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えて気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成31年2月)



～利用者様の声より～

利用者：はじめは家に帰りたかった。何でこんな所に来たのかと思っていたが、今はみなさん良くしてくれる。

施設：入所当初はあまり話すこともなく、一人で居ることが多かったです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者様は「施設へ入所した当時は、家族にこんな所に入れられたと情けなく思っていました。でも、家に居た頃は日中一人で居ることが多く寂しい思いをしていたので、今は知り合いや友達ができ、施設にも慣れ、何の心配もなく安心して過ごすことができ感謝しています。」と相談員へ話されたそうです。

施設でも、最初はお一人で居られることが多かったので職員さんが声かけを多くするように心がけられていたようです。

他の利用者様も「何も困った事はない。職員さんがよく声かけをしてくれ、ここへ来て幸せ。リハビリができて入浴でも良くしてもらおう。」と話されていたようです。

また、職員さんが居室内を訪問する際は、用事がある人だけではなく、利用者様全員に一声かけるように心がけられているそうです。

やはり、職員さんが利用者様への介助で来られた際に、同じ室内にいらっしゃる他の利用者様にもちょっとした声かけをしていただけると、声をかけられた利用者様も気持ちが良いのではないのでしょうか。今後ともよろしくお願いいたします。

利用者：「あの高菜をもらって、塩漬けして食べたい。」

施設：塩漬けを作ってもらおうと思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



相談員が「施設の畑の高菜が大きくなっていましたね。」と職員さんに声かけしたところ、「利用者様が『あの高菜をもらって、塩漬けにして食べたい。ビニール袋に入れて塩もみして、洗い桶を上からのせたら、すぐできる。』と話されるので、作っていただこうと思います」とお話しいただきました。

こちらの利用者様は、以前は実家で小売りの方が買いに来られる程たくさんの高菜漬けを漬けられていたそうです。

施設の「すぐに利用者様の気持ちに寄り添い、特別なことではなく、今まで普通に毎年家でされていたことをしていただく」といった姿勢に、感動し嬉しく思いました。

準備から完成まで職員さんも大変かと思いますが、やはり高齢者にはたくさんの知恵や豊富な経験がありますので、それを教えていただきながら、また次の世代へ繋げていけることはとても素晴らしいことだと思います。

高菜漬けが食卓に並ぶ日の利用者様や職員さんの笑顔が待ち遠しいですね。



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：入浴後に個別にリハビリをされていました。

施設：リハビリは、医師と専任のリハビリスタッフが意向と身体状況をアセスメントしたうえで個別のリハビリ計画を立てて取り組んでいます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



リハビリ担当の方が「リハビリは体が温まっている入浴後が効果的」と話されたそうです。こちらの施設では、リハビリの担当者がそれぞれの利用者様毎に決められていて、リハビリ室だけではなく、その利用者様に応じた場所で体の状態にあわせたリハビリをされているそうです。

利用者様はそれぞれ体の状態が違うので、全員が同じような動きをするリハビリでは効果が出にくい方もいらっしゃると思います。やはりリハビリの専門家に個別のアドバイスをいただけることは、短期間でより大きな効果が期待できるのではないのでしょうか。

今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。